

# Webプログラミング

選 択

開講年次：2 年次後期

科目区分：講義＋演習

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：Webにおけるインタラクティブなしくみを構築するために、JavaScriptによる基礎的なプログラミング手法について学習します。また、JavaScriptライブラリの中でも近年最もよく利用されるjQueryについても触れ、より高度なWebプログラミングのための、足がかりを築きます。

■**到達目標**：①プログラミングの基本的な考え方を理解できること。  
②JavaScriptやjQueryを利用した簡単なプログラミングができること。

■**担当教員**：

大淵 一博

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 オリエンテーション／プログラミングの考え方／Webプログラミングの現状
- 第 2 回 JavaScriptの基礎①（変数、代入、演算子、ダイアログ、コメント）
- 第 3 回 JavaScriptの基礎②（条件分岐、繰り返し）
- 第 4 回 JavaScriptの基礎③（イベントハンドラ）
- 第 5 回 JavaScriptの基礎④（文字列操作、配列、関数）
- 第 6 回 JavaScriptの基礎⑤（ダイアログ、エレメント、スタイル）
- 第 7 回 JavaScriptの基礎⑥（FORMとの連携、画像）
- 第 8 回 課題1
- 第 9 回 JavaScriptの基礎⑦（Canvasによる描画）
- 第10回 課題2
- 第11回 jQueryの基礎①（JavaScriptとの関係・基本構文・セレクタ）
- 第12回 jQueryの基礎②（メソッド）
- 第13回 jQueryの基礎③（イベントハンドラ）
- 第14回 課題3
- 第15回 プレゼンテーション

■**教科書**：教科書は使用しません。適宜資料を配布します。

■**参考文献**：『やさしくはじめるWebデザイナーのためのjQueryの学校』（マイナビ）、『Web制作の現場で使うjQueryデザイン入門』（アスキーメディアワークス）、『JavaScriptポケットリファレンス』（技術評論社）、『改訂新版JavaScript本格入門～モダンスタイルによる基礎から現場での応用まで』（技術評論社）

■**成績評価基準と方法**：授業課題、出席状況、プレゼンテーション、授業態度を総合的に評価します。また、最終期限までにすべての課題が提出されない場合には、単位が認められません。また、出席数が全体の2/3に満たない場合にも単位が認められません。

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②		
課題	◎	◎	授業内容のポイントを理解し、条件に従って適切に制作していること。 期日までに提出されていること。	80
プレゼンテーション	○	○	授業内容のポイントを理解していること。	20
出席			2/3以上の出席。遅刻、欠席は全体の評価から減点します。	欠格要件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：情報リテラシーI、情報リテラシーII、Webデザイン、プログラミングI、プログラミングII、プログラミングIII

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：各課題の評価を総合的に集計して課題の全体評価とします。課題期限に遅れた場合には、評価が減点されますので、注意してください。